

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2019.10.03

## 京大病院医療安全情報116

# 【大腸内視鏡検査における 腸管洗浄剤のリスク】

大腸内視鏡検査の前処置として使用する腸管洗浄剤は、腸管内圧の上昇により腸管穿孔を起こすリスクがあります。以前より、PMDA(医薬品医療機器総合機構)や日本医療機能評価機構より注意喚起がなされています。

### 事例 腸管洗浄剤の服用により腸管穿孔に至った事例

70歳代。上部内視鏡検査にて胃ポリープを指摘され、大腸疾患を除外診断するために大腸内視鏡検査を予定した。便秘の既往がなく、腹部X線で腸管狭窄を示唆する所見はなかった。検査当日、腸管洗浄剤を全量内服しても排便がなく、高圧浣腸を施行したが排便はなかった。その後、大量に嘔吐ありCT撮像したところ、大腸狭窄による腸閉塞があり、腸管穿孔が強く疑われた。緊急手術の予定としたが、状態が急速に悪化し死亡された。

(日本医療機能評価機構の事例より抜粋)

当院においても、類似事例や未然に防止できた事例の報告があります。

**腸管洗浄剤を処方する時・服用する前には  
リスク評価が必要です**

### 腸管洗浄剤使用前はリスク評価をしよう

腸管洗浄剤は**腸閉塞を疑う患者には禁忌**です。  
服用前に**数日間の排便状況を確認**しましょう。



数日間排便のないまま（高度便秘）、腸管洗浄剤を服用すると、腸管内圧の上昇により腸管穿孔を起こすリスクがあります。

#### 腸管洗浄剤処方前チェック

A項目	<input type="checkbox"/> 嘔気 <input type="checkbox"/> 腹部膨満 <input type="checkbox"/> 腹痛
B項目	<input type="checkbox"/> 3日に1回以上の便秘 <input type="checkbox"/> 便秘傾向の増悪 <input type="checkbox"/> 便の狭小化 <input type="checkbox"/> 便に血液が混じる <input type="checkbox"/> 少量ずつの軟便

腸管洗浄剤：ムーベン、モビプレップ等

#### 注意事項

- A項目1項目以上またはB項目2項目以上にチェックがつく場合は、CT検査にて通過障害の有無を確認すること。
- 3日以上便秘傾向があれば、あらかじめ緩下剤の投与を考慮する。
- 排便状況の確認が困難な高齢者・認知障害のある患者は、投与前にCT検査を行うことが望ましい。

#### <外来患者の場合>

- 処方日から内服開始までに症状や排便状態が悪化したら、受診するように説明する。
- 自宅が遠方の場合や認知障害等により自宅での服用にリスクある場合は、当日院内で服用してもらう。